

6 - 8 1985年10月3日京都・滋賀県境の地震

The Earthquake near the Border of Kyoto and Shiga Prefectures, October 4, 1985

気象庁地震予知情報課

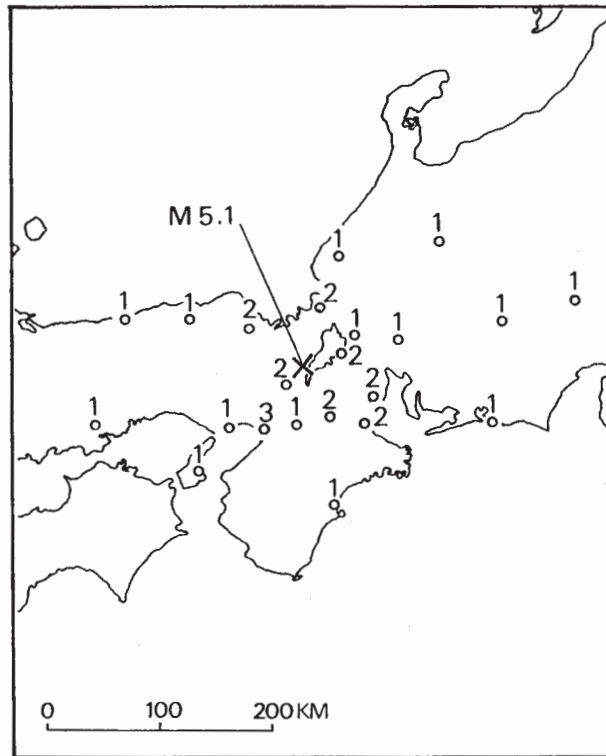
Earthquake Prediction Information Division

Japan Meteorological Agency

1985年10月3日20時57分に京都・滋賀県境付近でM5.1の地震が発生し、第1図に示すとおり、大阪で震度3が観測されたのをはじめ、近畿地方を中心に中部地方から中国地方に及ぶかなり広い範囲で有感であった。この地震は花折断層付近で発生したもので、震源は $135^{\circ}51'.7E$, $35^{\circ}10'.7N$, $H=8\text{km}$, ($OT=20^{\text{h}}57^{\text{m}}32.^{\text{s}}7$)と求められた。余震は3日から4日にかけて10個くらい観測されたが、最大は4日07時28分のM3.8の地震であった。

第2図に本震のメカニズム解を示す。主圧力軸東西方向の横ずれ型である。

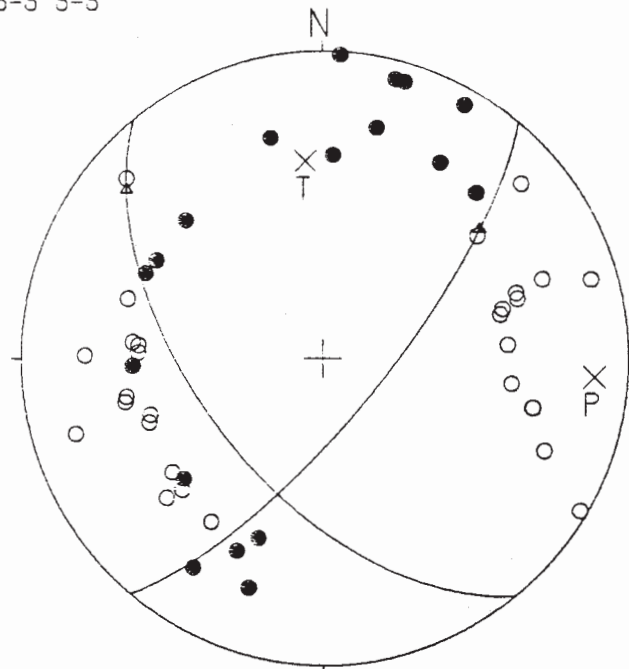
第3図は1926年から1985年までに京都・滋賀県境付近で発生したM3.7以上の地震の震央分布である。この地震の北西方に当たる京都府北東部では、1926年11月10日(M5.2), 1949年8月10日(M5.1), 1972年8月31日(M5.1)にM5クラスの地震が23年毎に発生、また北方の滋賀・福井県境付近で1937年8月17日にM5.3の地震が発生しているが、今回の地震が発生した京都・滋賀県境の近くでは1926年以降M5.0以上の地震は発生していない。



第1図 1985年10月3日京都・滋賀県境の地震の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake near the border of Kyoto and Shiga Prefectures, October 3, 1985.

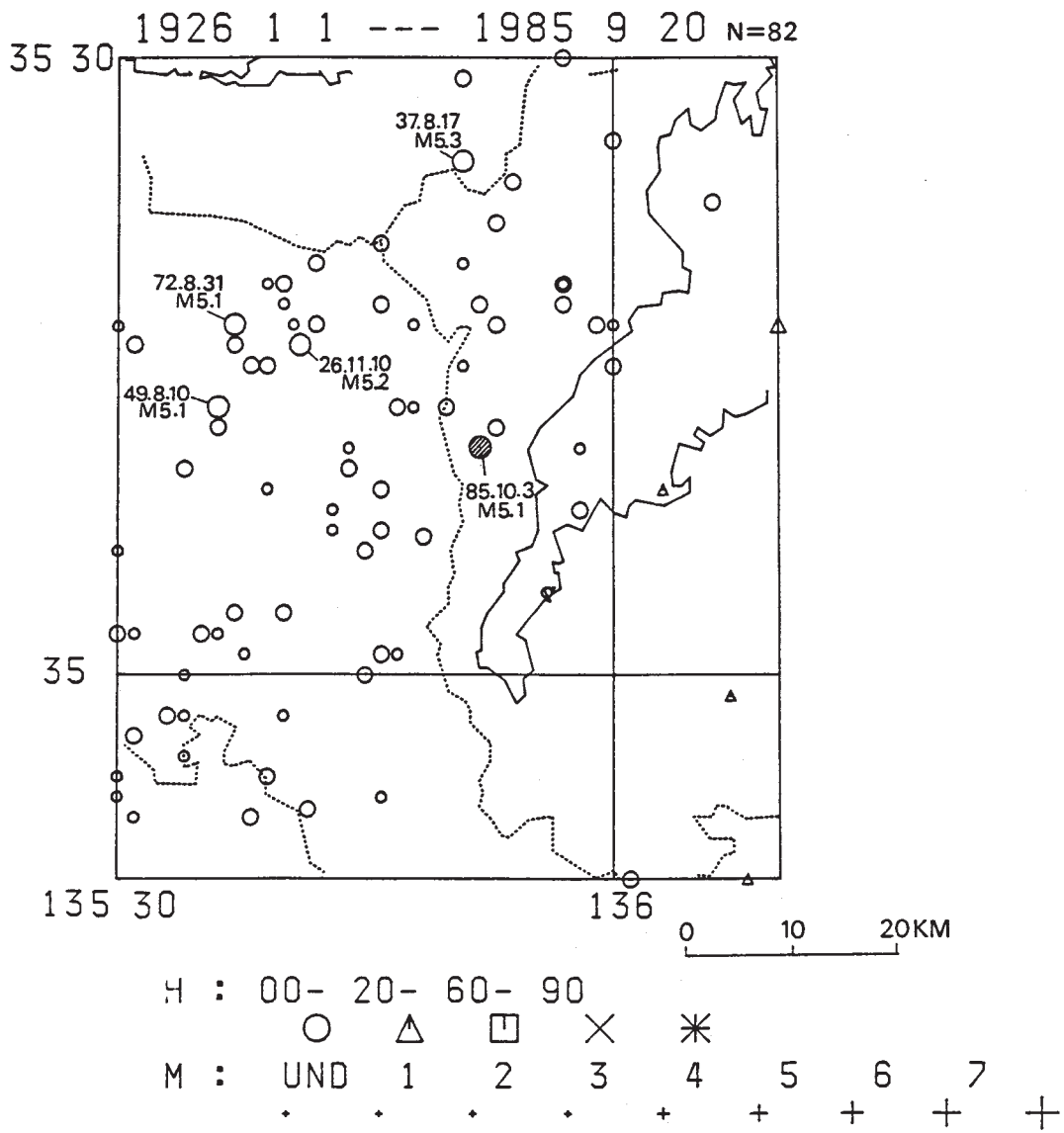
3 OCT. 1985 20 57
 LON.=135 52 LAT.=35 11 H= 8 MAG.=5.1
 DIP DIR.= 50 DIP=74 DIP DIR.=309 DIP=56
 P AZ=266 IN=78 T AZ= 5 IN=54
 TYPE REVERSE
 S-S S-S



第2図 1985年10月3日京都・滋賀県境の地震のメカニズム解（上半球投影）

Fig. 2 Focal mechanism of the earthquake near the Kyoto and Shiga Prefectures, October 3, 1985 projectea on upper hemisphere.

● up ○ down



第3図 1926年～1985年京都・滋賀県境付近の地震活動 (M ≥ 3.7)

Fig. 3 Earthquake epicenters with magnitude larger than 3.7 near the border Kyoto and Shiga Prefectures for 1926 - 1985.